

はなれていても

菅野 大輝さん(比叡 福島県福島市在住)



福島市役所に勤務し、農政部で仕事をしています。震災は中学1年生の年度末。避難でそのまま会えなくなった同級生もいました。仮設の中学校では各務原市立中央中学校(岐阜県)と交流を深めたり、大切な言葉を全国から募る「日本人の忘れ物」プロジェクトを実行したり。個人でも「キッズフォトジャーナル」という活動に

参加し状況の発信に関わったりしました。村内の農地は荒れ、フレコンバッグやモニタリングポストが置かれて、当時は失ったものの大きさを感じていました。小学校の頃は下校前に校庭で野球やサッカーをして、家に帰ると祖父と釣りに行って、家には人が来て話をしていて、本当にお互い様の暮らしがあったと思います。都市



「震災後、自分の中では和みの場であり支えとなっていました」と言うよさこいチーム「いいたて愛」で今も大きな旗を振っています。

部では人がたくさん住んでいても、そもそも村のような関わり合いがないですよ。避難をして、その違いを実感しました。祖父母は「生まれた所が一番だ」と村に戻りました。家族もそれぞれ祖父母に会いに家に通っています。生まれ育った飯館村が、いつまでも私の「ふるさと」であってほしいと願っています。少しずつ復興が進んでいて、地区にも移住してきた人がいると聞きます。新しい村に生まれ変わってほしいという期待もあります。新たに村に住む方達にも「までの」の精神を受け継いでもらえたらうれしいです。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

交流センター「ふれ愛館」では、絵本や図鑑、小説や郷土資料など、様々な本の貸し出しを行っています。また、多くの皆さんにご利用をいただこうと、新刊や雑誌を含む図書の購入にも力を入れていきます。

幅広い世代に絶大な人気を誇るアニメの原作漫画「鬼滅の刃」「呪術廻戦」「はたらく細胞!!」も間もなくラインアップに加わります。ぜひ一度、交流センターの図書コーナーをのぞいてみてくださいね。



本の貸出時間は平日の午前8時30分から午後5時までです。

問 交流センター「ふれ愛館」

☎0244(42)0072

話題のパレット

聴く人の心に響く民謡を



1月29日、『第43回NHK東北民謡コンクール福島県大会』が行われ、大賞部門で「相馬流れ山」を披露した新開茜衣梨さん(草野)が優秀賞を受賞しました。今回が5年ぶりの大会出場。「5年間民謡から離れて生活していましたが、民謡の良さや民謡が大好きな気持ちを改めて実感しました。今後も唄い続けていきたいです。」

ご長寿記録を更新中!



2月2日、古川トミ子さん(伊丹沢)の106歳の誕生日を祝う会が、「いいたてホーム」で行われました。トミ子さんは大正5年2月3日生まれ。103歳から、村の最高齢を更新し続けています。100歳を迎えた時から毎年誕生日に着用している、自身が仕立てた大切な着物を着て、職員手作りのケーキを美味しく食べていました。

村民の野菜が学校給食に!



「いいたて希望の里学園」では村内産の新鮮な野菜を学校給食に利用しています。この日「学校給食センター」に白菜などを持参した目黒正光さん(伊丹沢)も提供者の1人。「私の野菜を食べて大物に育ってくれたらうれしいねえ」と楽しそうに話していました。野菜の提供方法など詳細は飯館村教育委員会 ☎0244-42-1631まで。

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

6年生のオンライン英語交流



2月8日、6年生が外国語科の授業で、金山町立金山小学校、同立横田小学校とオンラインで交流しました。各校の児童が一人ずつ英語で思い出を発表、互いに質問もして英会話を楽しみました。大島輝琉さんは「会ったことのない人と交流できた」と、赤石澤永輝さんは「みんなの思い出を聞くのが楽しかった」と、新鮮な交流を満喫したようでした。